

vol. 2241

【発行】大分県高等学校教職員組合教宣部 大分市大字下郡496-38 大分県教育会館
TEL／(097) 556-2838 FAX／(097) 556-8998 MAIL／ohtwu@view.ocn.ne.jp

大分県高教組情報

【発行者】大野 真二 【印刷】佐伯印刷(株) 【売 価】30円(組合員の購読料は組合費の中に含んで徴収しています)



今号の掲載内容(掲載順)

- 2021年新春メッセージ

2021年新春メッセージ

教職員をめぐる諸課題の解決、平和を守り
国民が安心して生活できる政治の実現をめざして

大分県高等学校教職員組合 執行委員長

大野 真二

あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大によって、過去に経験したことのない混乱の一年でした。感染拡大の終息の時機もいまだ不透明であり、今後ワクチンが行き渡り感染が収まったとしても、以前のような状況に戻れるか全く予断を許しません。本来昨年は、不完全とはいえ50年近く手のつかなかった給特法が改正されるなどの情勢を追い風に、学校現場の長年の課題

である超勤縮減に向け動きを始めるべき年でした。感染症対策と並行して、教職員の「働き方改革」を、今年こそ大きく進めなければなりません。さらに、感染拡大の情勢の中で、日教組など教育関連の23団体の集会で文部科学大臣が「不退転の決意でとりくむ」と表明するなど、これも長年の課題である少人数学級の実現にも動きが出てきました。大きな壁となる財務省は、「少人数学級化で学力が向上したという研究成果はない」などとの的外れな見解を出しました。少人数化で児童生徒の一人ひとりが行き届いた教育を受ける権利を保障するという、教育の本質を前面に出し、学力面を重視し教育の成果をはかろうとする社会の風潮をも変えなければなりません。また、今回の少人数学級の議論はあくまで小中学校でのことであり、高校での少人数学級の実現には、私たちのとりくみが重要であることはいうまでもありません。

今年こそ解散総選挙が行われます。昨年9月に就任した菅首相は、理念もなくただ憲法を変えることだけにこだわった安倍前首相を長きにわたって支えた人物であり、「悪夢のような」安倍政権と何ら変わるところがありません。安倍内閣、菅内閣と8年にわたって続く自公政権は、得票率を大きく上回る議席数を獲得し、傍若無人というにふさわしい国民不在の政治を続けてきました。かれらの、反対する意見には耳を貸さず、国内に分断をもたらすこともためらわない政治は、今年で終わりにしなければなりません。総選挙の時期は不透明ですが、2区「吉川はじめ」の勝利、そして自公政権に対するわたしたちの勝利を勝ち取るため、来る総選挙にとりくみましょう。

わたしたち教職員の勤務労働条件の改善はもちろん、学校をめぐる諸課題の解決、公平公正な社会の実現に向け、今年度も、高教組は組織の力を結集してとりくむことを確認し、年頭のあいさつといたします。

2021年の初頭にあたり、連帯する組織と議員から多くのメッセージが寄せられました。次ページより掲載しています。

憲法・子どもの権利条約の理念のもと、子ども・学校現場の実態をふまえた教育改革を

日本教職員組合 中央執行委員長 清水 秀行

大分県高等学校教職員組合のみなさま、あけましておめでとうございます。

昨年は、7月豪雨災害に続き、台風などの自然災害により甚大な被害をもたらしました。新型コロナウイルスは、日本の社会・経済、高校生・大学生などの生活、就職活動を含めた雇用環境にも深刻な影響を与えています。

学校では、休業・分散登校や感染防止のために、教育課程の展開や子どもたちの活動が制限されました。その中で、子どもは我慢を強いられ、不安や心身のストレスを抱えています。私たちは子どもたちに寄り添い、失われた学びに代わるとりくみを工夫し、実践していきましょう。

学校の働き方改革、定数改善、教員免許更新制の廃止など、国会に教職員の声を届けることは重要です。経済優先と「自助」を掲げる政権が続いています。今年行われる衆議院選挙では、富の再配分、「共生・共助」を求めていきましょう。すべての子どもたちに平和で民主的な社会を引き継ぐため、社会を変える運動をともに展開していきましょう。

「私たちが未来を変える」～安心社会に向けて～

日本労働組合総連合会・大分県連合会 会長 佐藤 寛人

2021年、新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。常日頃から連合大分運動に対するご理解とご支援に改めて感謝を申し上げます。

さて、比叡山を開いた最澄は「一隅を照らす、これすなわち国の宝なり」と言う言葉を残しています。「一人ひとりがそれぞれの持ち場で全力を尽くすことによって、社会全体が明るく照らされていく。その光は、自分のためだけではなく、人のために、みんなのために注がれる」ということです。

まさに、私たち組合員一人ひとりが、それぞれの「持ち場・立場」を原点に「運動」を創る。そのことが「みんなのためになる」ことを言い当てた言葉であると捉えています。連合大分に結集する組織労働者5万人は、一人ひとりの「持ち場・立場」において、自らの声を発信し、働く仲間の声に耳を傾け、地球の裏側で起きる課題から身近で起きる課題まで、自分なりに整理することによって、自らの課題として受け止め、職場を原点に運動を進めていこうではありませんか。

当面する課題は、組織強化拡大、2021春季生活闘争、男女平等参画、政策制度と政治闘争など多岐にわたっていますが、連合大分は、2021年度においても「新たな発想」をもって運動を構築し、機関会議で決定したことは、「かみ合ったタテとヨコ」を軸に、連合大分組合員『総がかり』で存在感を示す運動を進めていきます。

「私たちが未来を変える」「私たち連合大分が大分から未来を変える」ことを誓い合い、今年も高教組の皆さんの絶大なご理解とご支援をお願いして、年頭のご挨拶とします。ともにがんばりましょう。

真っ当な政治のため政権交代を

大分県平和運動センター 議長 佐藤 義朗

大分県高等学校教職員組合のみなさん、新年明けましておめでとうございます。

また、平素より大分県平和運動センターのとりくみに対して、大野委員長を先頭に高教組一丸となつてご理解・ご協力をいただいていることに心からお礼を申し上げます。

さて、2020年はいまだかつて人類が経験したことのない、新型コロナウイルス感染拡大、また、それに伴う緊急事態宣言による日本全国、全世界的な規模での強い制約は、感染症に限らず政治、経済、社会の諸分野において、さまざまな問題を析出させました。このことは、労働運動においても例外ではなく、集会や会議等が中止・延期・縮小され、新しい生活様式を余儀なくされました。

2021年は、昨年の第203回臨時国会での野党による「日本学術会議」「桜を見る会」をめぐる追及や、河井元法相夫妻の疑惑に加えて、新型コロナウイルス感染拡大「第3波」対応に関する社会とのコミュニケーションの失敗等が相次いだこともあって、過度なまでに政治不信が高まっています。遅くとも10月までには解散総選挙が実施されることから、真っ向から安倍政治を引き継いだ菅政権と対峙し、政権交代への道筋を切り開く必要があります。

また、2月の大分市議選を皮切りに、4月の佐伯市・竹田市・豊後大野市・豊後高田市、10月の由布市で市議選・市長

選が行われます。県平和運動センターもみなさんと全力でとりくんでいくことをお誓いし、新年のあいさつとします。ともに頑張りましょう。

社民党の進むべき道について

社会民主党大分県連合 代表 久原 和弘

新年明けましておめでとうございます。昨年はコロナ禍の中で大変な一年だったと思います。社民党は第18回臨時大会（2020年11月14日）では方針通り「社会民主党を残し、社会民主主義の実現にとりくんでいく」という選択と同時に、「『よびかけ』」に応じて、立憲民主党へ合流し、社会民主主義の継承・発展をめざすという選択のいずれも理解し合うこと」に賛成多数で決定しました。私たち大分県連合は、立憲民主党と一緒に立憲民主党の中で運動することを選択しました。県平和運動センターの皆さん（自治労、県教組、高教組、私鉄）の全国組織は立憲民主党ですが、大分県では社民党とガッチリ手を組んで社民党の灯を守ってきました。月一回必ず党と平和運動センター3役での合同会議を開催し、方針を決定していました。その中で合流やむなしとなりました。社民党の「進むべき道」は以上の通りです。当面する闘いは一年以内に必ず行われる衆議院総選挙です。2区の「吉川はじめ」当選のため、ご理解とご協力をお願いし新年の挨拶とします。

今だからこそ学校現場の「働き方改革」の実現を

立憲民主党 衆議院議員 吉川 元

大分県高教組に集う組合員、そしてご家族の皆さん、新年あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスの影響で、小中高の一斉休校が実施されるなど、かつて経験したことのない事態に遭遇しました。加えて、高校の学校現場では、大学入試改革への対応など、二重、三重の負担が、皆さんにのしかかったものと承知しています。コロナ対策を理由に教職員の「働き方改革」が吹き飛ばすことのないよう、引き続き、教職員配置の充実、ひいては教育予算の大幅増を求めてまいります。さて、衆議員議員の任期が1年を切り、今年は必ず、総選挙が実施されます。大分から政治を変え、教育を実りあるものにするため、全力で選挙戦、闘ってまいります。その決意を申し上げ、新年のあいさつにかえさせていただきます。

コロナに打ち勝ち、希望の持てる年に

立憲民主党 参議院議員 吉田 忠智

新年おめでとうございます。昨年も大変お世話になり、ありがとうございました。昨年は、新型コロナウイルスが世界を席巻し、突然の休校など教育現場は混乱致しました。菅政権は「自助」を押し付け、新自由主義路線の強化を目論んでおり、厳しく対峙していきます。参議院2期目の国会活動は、総務委員会と決算委員会を中心に活動し、学校給食調理場の空調施設設置を働きかけた他、職員の処遇改善・人員確保や地方財政の課題や地方自治体における新型コロナ対策など暮らしに直結する問題点を取り上げてきました。皆様方と連携をはかりながら、課題を解決に導く決意です。年明けにも想定される衆議院解散・総選挙では、組織内「吉川はじめ」の小選挙区勝利、政権交代への道筋を作るために皆様のお力を貸してください。本年が皆様方にとりまして希望の持てる年になりますように祈念申し上げ、年頭のあいさつにさせていただきます。

「コロナ後」の新しい教育現場を考える

立憲民主党 衆議院議員 横光 克彦

大分県高教組の皆さま、そしてご家族の皆さま、新年明けましておめでとうございます。昨年は、世界的規模での新型コロナウイルスの感染拡大のため、3月から小中高での学校休校要請が出され、教育の現場ではその対応に追われ、学校再開後は、子どもたちを守るための感染防止策に追われる一年だったと思います。心よりみなさまの子どもを守るための日々の活動に敬意と感謝を申し上げます。

ます。

人類は、これまでも「天然痘」と闘い、14世紀にはヨーロッパの人口が三分の一になったと言われる「ペスト」、1918年の「スペイン風邪」の大規模感染などと闘ってきました。コロナとの闘いはまだまだ続きますが、この「コロナ禍」を、新しい教育現場のあり方を考え直す良い機会としたいと思います。

私も、日政連副会長として、現場のみなさまが、子どもと余裕をもって向き合うことができるように、今後も少人数学級の実現に向けたとりくみを続けてまいります。

最後になりますが、みなさまにとって本年が充実した良い年となりますことをお祈りして、新年のご挨拶とさせていただきます。

子どもたち、そして教職員のために

立憲民主党 参議院議員 水岡 俊一

あけましておめでとうございます。日々子どもたちと共に、また子どもたちのためにご奮闘されている教職員の方々に心よりの敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行、またそれに伴う突然の全国一斉休業要請により、学校現場では昨年大きな混乱が起きたことを承知しております。いまだに教職員が校舎内の消毒を担う学校もあり、業務量はますます増加しています。健康にご留意の上、この一年もご活躍していただきますようお願い申し上げます。

今年4月から各自治体の判断により学校現場に「一年単位の変形労働時間制」の適用が可能となります。導入が決まった自治体はまだわずかですが、仮に導入する場合でも国会での委員会決議の際に付けた12項目の附帯決議を厳守し、教職員の業務時間が削減されるよう正しく運用を行うことが必要です。

子どもたちの「学び」とみなさんの働きやすい環境作りのために、この一年も日政連議員と共に頑張ってください。

今こそ真の教育改革を実現しましょう！

立憲民主党 参議院議員 那谷屋 正義

大分県高教組の皆さま、新年明けましておめでとうございます。日頃からのご支援、ご指導に感謝するとともに、新しい年が素晴らしい1年になりますことを心からご祈念申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた一年でした。学校現場の皆さまにとって、働き方改革の声も空しく、逆に多忙化に拍車がかかった年となってしまいました。子どもたちの健康と安全、学習の場の保障にご尽力されたことに心から敬意と感謝を申し上げます。

菅政権が発足して初の臨時国会はわずか41日間で幕が閉じられました。感染症対策、安倍前政権の「負の遺産」と正面から向き合わない新政権は、これまでと何ら変わりはありません。

少人数学級の実現と現場の実態に応じた加配措置、教職員の働き方改革、教員の養成・採用・研修制度と教員免許更新制度の見直しなど、魅力ある学校の職場づくりに向けて必要な予算の確保等、今こそ抜本的な見直しが求められています。

学校現場からの真の教育改革の実現に向けて今年も全力でとりくみます。今後とも皆さま方のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ともに頑張りましょう！

今年も、現場の声を届ける1年に

参議院議員 安達 澄

今年は、「おめでとうございます」の書き出しをつい躊躇してしまう、コロナ禍でのそんな年明けとなりました。

おかげ様で、議員になって約1年半。私の今の主な担当（所属委員会）は経済産業分野ですが、文部科学省ともよく仕事をします。官僚に対する世の中のイメージは芳しくありませんが、現場の先生や生徒のために必死に努力する文科省の若手官僚に、私はたくさん出会います。彼らは、現場の声や学校の主体性を尊重していると感じます。

私の役割の一つは、それぞれの持ち場で頑張る人たち、つまり、生徒と日々向き合う現場の先生と、役所の人をつなぐ

ことです。1年半を経た実感は、国会や役所の世界はとても狭い。だからこそ、現場の声が大切ということです。ぜひ、皆さんの声を私にお聞かせください (kiyoshi_adachi@sangiin.go.jp)。その声を役所にしっかりと届け、皆さんにまた必ず、お戻しします。私を、がんがん使ってください。

最後に、組合の皆さん、そしてご家族にとって、健やかな良き1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

落ち着いて学べる環境を

大分県議会議員 尾島 保彦

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナに始まりコロナで終わったような一年でした。突然の休校や各種行事の中止、感染防止のための対策など学校現場は混乱し、教職員の皆様は、大変苦労なさったことと思います。今年こそはコロナを終息させたいと願うばかりです。昨年12月の県議会では、県民クラブの提出した「少人数学級の編成を求める」意見書が全会一致で可決されました。また2021年度の予算要求の概要では、新型コロナウイルスの感染防止対策として、スクールサポートスタッフの増員、衛生用品の経費、支援学校スクールバス増便等が計上されています。今はまだ新しい生活様式の徹底など感染防止に努めながら、生徒たちが落ち着いて学べる環境を作っていくことが大事だと考えます。これからも県政の中で教育課題にとりくんで参ります。おわりに、大分県高教組の躍進と皆様方のご活躍をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とします。

だれもが生きがいを持って安心して暮らせる社会を

大分市議会議員 高野 博幸

新年明けましておめでとうございます。

平素から、あたたかいご指導・ご鞭撻いただいておりますことに、感謝とお礼を申し上げます。本年も新たな気持ちで皆様のお役に立てるようがんばってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

少子高齢化、人口減少に伴い市税の減収や社会保障関係費の増加、そして老朽化が進む公共施設の改修、修繕等に係る経費が増加する見込みです。限られた財源の中で多様化する市民ニーズに 대응していくためには、事業の優先順位を考えながら、様々な課題の解決に向けてとりくむ必要があります。だれもが生きがいを持って安心して暮らせる社会を実現するため、今後さらに地方議会の果たす役割や責務は重要になってきます。

本年2月には大分市議会議員選挙が実施されます。きびしい選挙戦が予想されますが、みなさまのあたたかいご支援、ご協力をお願い致します。

結びに、今年1年が皆様にとって、よい年になりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

高教組運動と一体的なとりくみを

大分県高等学校退職教職員協議会 会長 藤嶋 弘史

新年明けましておめでとうございます。

2020年はまさに新型コロナウイルス感染症に振り回された一年となりました。3月に開催を計画して、すでに準備も終えていた九州ブロック日退教の大分での総会は中止になりました。例年7月に開催する高退教の総会も熟慮に熟慮を重ねた結果、やむなく中止することにしました。このため、会員の貴重な交流の場を失い、大変申し訳なく感じています。同時に新しく退職された高教組の皆様をお迎えする機会を閉じてしまい、とても残念な思いをしました。

一日も早く新型コロナウイルス感染症の流行が終息し、新年度には新しい退職者をお迎えし、高教組のとりくみに現退一致して、退職後が安心・安全に暮らせる社会と豊かな生活の向上を追求して共に行動できることを楽しみにしています。

新年が高教組の皆様にとって幸多かれとお祈りいたします。

あけましておめでとうございます

大分県高校生協は、教職員の福利厚生に一端を担う相互扶助組織とする職域生協として、組合員の安全で安心して暮らす豊かな暮らしを求め、ともに支え合う共生社会の実現のために、職員一丸となってがんばっています。

本年も大分県高校生協のご利用とご協力をお願いいたします。

○共同購入

○指定店・協力店

紳士服 メガネ 宝石 文具/事務機 絵画 高麗人参
豚肉加工品 白蟻予防/駆除 住宅/マンション 塗装
住宅機器 リフォーム デザイン/印刷/翻訳
ガソリン エンジンオイル 電解水素水浄水器 他

○旅行・航空券

○指定整備工場

○葬祭事業

○共済・保険事業

○クレジットカード

○オンラインショッピング (PC・家電・書籍等)

協同の輪をひろげ、組合員のくらしと仕事を総合的にサポートする
平和で安心して暮らせる社会の実現をめざして

大分県高等学校生活協同組合

理事長 大野 真二

専務理事 三重野 修次

大分市大字下郡496-38 大分県教育会館内

TEL: 097-556-4666 / FAX: 097-556-9388

URL: www.oita-koseikyouschool-info.jp/

あんしん むすぶ
教職員共済 <http://www.kyousyokuin.or.jp/>

あけましておめでとうございます
教職員共済は、
「教職員」だけがご加入いただける共済生協です！

教職員共済とは

- 厚生労働省の認可を受けた、共済事業を行う生協です。
- 教職員・教育関係者だけが加入できる共済生協です。
- 教職員を組合員とする、教職員と家族を守るための共済生協です。

「教職員」の皆さまの生活をトータルサポート！

総合共済	トリプルガード (団体生命共済・医療共済)	レスキュースリー (火災・盗難共済)	自動車共済
火災共済 (住宅火災等賠償付火災共済)	新・終身共済 (終身生命共済)	年金共済 (年金共済・遺族年金共済)	車両共済 (車両保険)
自然災害共済			

厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合 大分県事業所
所長 横道信哉

大分市大字下郡 496-38
大分県教育会館 2F
TEL: 097-556-4300
FAX: 097-556-4441

あけましておめでとうございます

旧年中の労働金庫に対する一方ならぬご愛顧に対し、深く感謝申し上げます。

ろうきんは、これからも協同組織の福祉金融機関として、働く人の夢と幸せの実現を目指してまいります。

本年もよろしく願いいたします。



九州労働金庫大分県本部

本部長 山本新彦

教育ローン 奨学金借換専用「つなぐ」

奨学金をご返済中の方の返済負担軽減、連帯保証人保証から保証機関保証へ切り替えることによる負担感の軽減を目的として、奨学金借換専用「つなぐ」の取り組みを展開中です。是非、ご相談ください。

謹 賀 新 年

あけましておめでとうございます。

旧年中に組合員の皆さんからいただいたご厚情に熱く感謝申し上げます。

私たちは「教え子を再び戦場に送るな！」の不滅のスローガンのもと、頑なに憲法といのちを守るとりくみに邁進してまいり所存です。

皆様の今年一年のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

高教組本部一同



執行委員長 大野 真二
副執行委員長 長井 剛
副執行委員長 瀬尾 彰一
書記 長 窪田 一真
書記次長 仁木 史絵
執行委員 茨木 里香
執行委員 山野 寿美

書記 葛城美華子
書記 但馬智恵美
書記 野村 宏美

特別執行委員 則松 佳子(日教組副執行委員長)

特別執行委員 尾島 保彦(大分県議会議員)

